



恋愛観を大きく変えてくれるファンタジー恋愛小説

『いま、会いにゆきます』
(市川拓司/著 小学館)

最愛の妻澪を亡くした巧は、1年後澪に再会する。驚きを隠せない巧。それまでの1年を取り戻すように、6週間の短い時を澪と暮らすのだが、澪には秘密が…。大切な人を失う切なさや人を好きになるには覚悟がいることを教えてくれる一冊。
(学悠館高 Kさん)



一人は輝く光に憧れ、
一人は光でありながら
闇に魅入られた

『空色勾玉』
(荻原規子/作 徳間文庫)
舞台は古代日本。死ぬことのない「不死」の“輝”の一族と、生と死を繰り返す「転生」の“闇”の一族との戦い、そして、両者の葛藤が語られている物語。
(矢板東高 Yさん)



異世界への切符

「もうじき白鳥の停車場だねえ」

『銀河鉄道の夜』
(宮沢賢治/作 金井一郎/絵 三起商行)

祭りの夜、ジョバンニは、気がつくや親友カムパネルラと鉄道に乗っていた。不思議な世界を進んで行くと…。霧り絵で描かれた輝くような絵が美しい。銀河鉄道の夜を読んだことがある人もない人にも読んでほしい一冊です。
(栃木女子高 Hさん)



「お兄ちゃんは2年前に死んだはずだよ」

『九つの、物語』
(橋本紡/著 集英社文庫)

大学生のゆきなの前に死んだはずの兄が突然現れた。幽霊なのに料理ができて本が読める…。兄が現れた理由、そして死の真相が明らかになった時、あなたはあらためて家族の大切さを知るでしょう。兄の作る料理も必見！最後にはあの料理のレシピが載っています！

(さくら清修高 Hさん)



異なる世界で 異なる自分に

ある事をきっかけに世界が変わる！ 『ブレイブ・ストーリー』全3巻 (宮部みゆき/著 角川文庫)

東京のとある街にある新設校に通う小学校5年生の三谷巨とカッチャン。その街には、幽霊が出ると噂のビルがある。ある日、そのビルに巨が行くと、そこには別世界へとつながる扉があった…。読み応えたっぷりの長編ファンタジーです。

(さくら清修高 Mさん)

